

# 代議員アンケート結果

# 質問項目

- 1)先生の卒後年数
- 2)先生の専門科目
- 3)先生の地位

## 先生の教室・施設について

- A)施設 施設の種類
- B)病院全体の病床数
- C)受け持ちベット数
- D)外来患者数

## (一般的質問事項)

- 1)先生の教室・施設での医師の男女数はどのくらいですか。
- 2)一般的に女性医師の働きぶりに満足しておられますか。
- 3)女性医師へ特別な配慮をしていますか。
  - ・採用面
  - ・勤務条件面
  - ・昇進面
  - ・研究指導面
- 4)女性医師の処遇で、過去に困ったことはありましたか。
- 5)女性医師の退職、または休業理由は何ですか。

# 質問項目

## (女性医師への対応)

- 6) 女性医師は特に、妊娠、出産、子育て中に、休業または仕事内容の変更、仕事時間の短縮を迫られることがあります。それについてどうお考えですか。
- 7a) 産前の休暇についてどのくらいが適当とお考えですか。
- 7b) 産後の休暇についてどのくらいが適当とお考えですか。
- 8) 育児休暇についてどのくらいが適当とお考えですか。
- 9) 女性医師が1年以上休業した後に臨床への復帰を望んだら、希望をお認めになりますか。
- 10) 女性医師の当直を子育て中は免除してもよいとお考えですか。

## (女性医師支援)

- 11) 女性医師を確保する上で、必要と思われる支援策はなんであると思われますか。
- 12) 病院あるいは施設に医師が使える保育所はありますか。  
ある場合、保育園の開園曜日、可能時間帯  
ない場合、今後設置の計画はありますか(現在、多くの保育園は看護師対象です)
- 13) 女性医師が将来、教授・病院管理職、等になれるよう育て欲しいと思いますか。
- 14) 女性医師の子育て支援として、教授としてあるいは病院管理者として、可能性があると考えているものはありますか。

## (その他の支援)

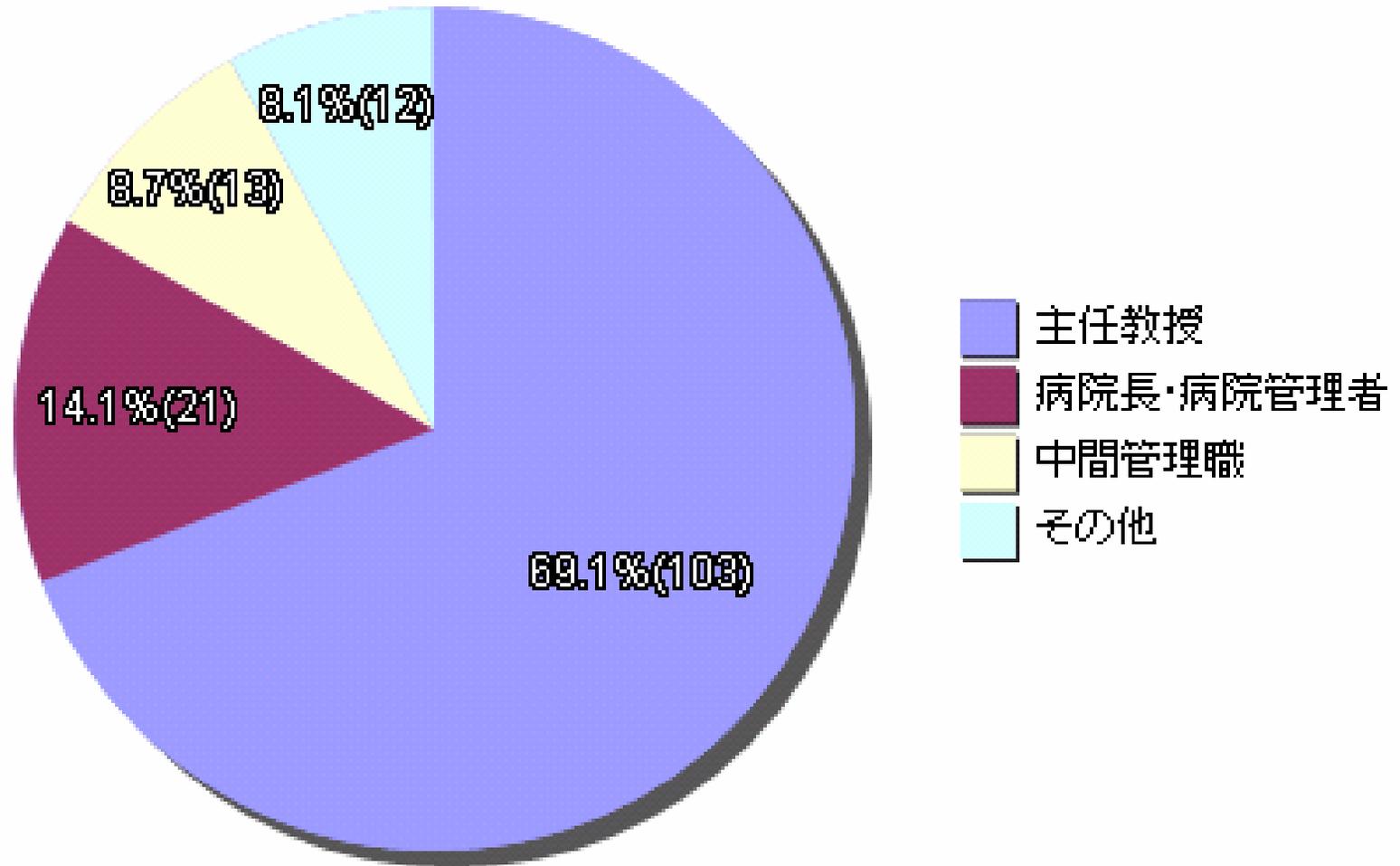
- 15) 男性医師の育児休業を認めますか。

# 質問項目

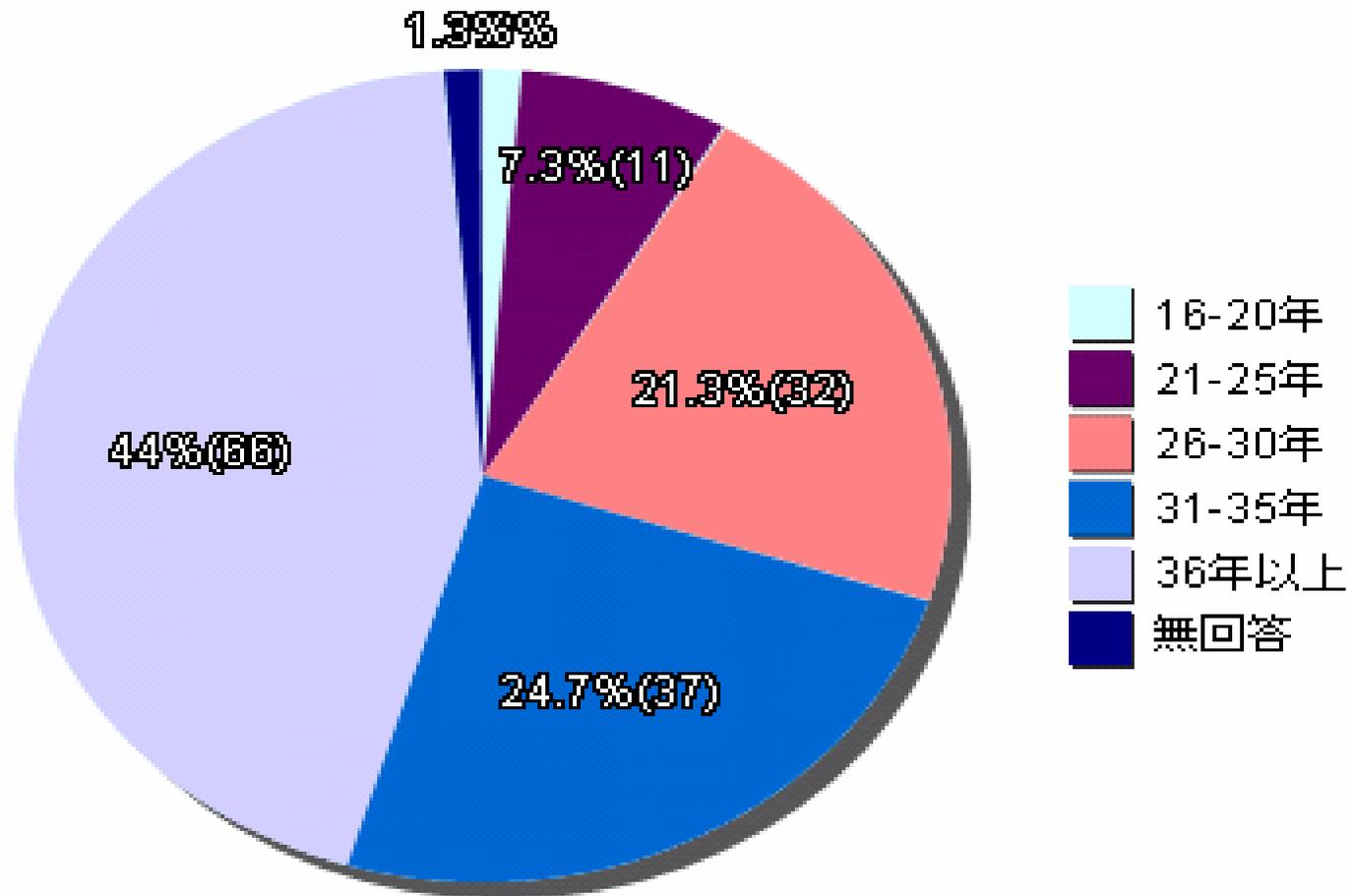
## (提言)

- 16) 女性医師を働きやすくさせる条件は何だと考えますか。
- 17) その条件整備に向けて自施設が取り組むべきと思われることは何ですか。
- 18) その条件整備に向けて日本外科学会が取り組むべきと思われることは何ですか。
- 19) 女性医師に希望することがあったらお書きください。
- 20) その他、女性医師全般について、ご意見、ご要望、ご批判などございましたらお聞かせください。

## 代議員回答者の内訳



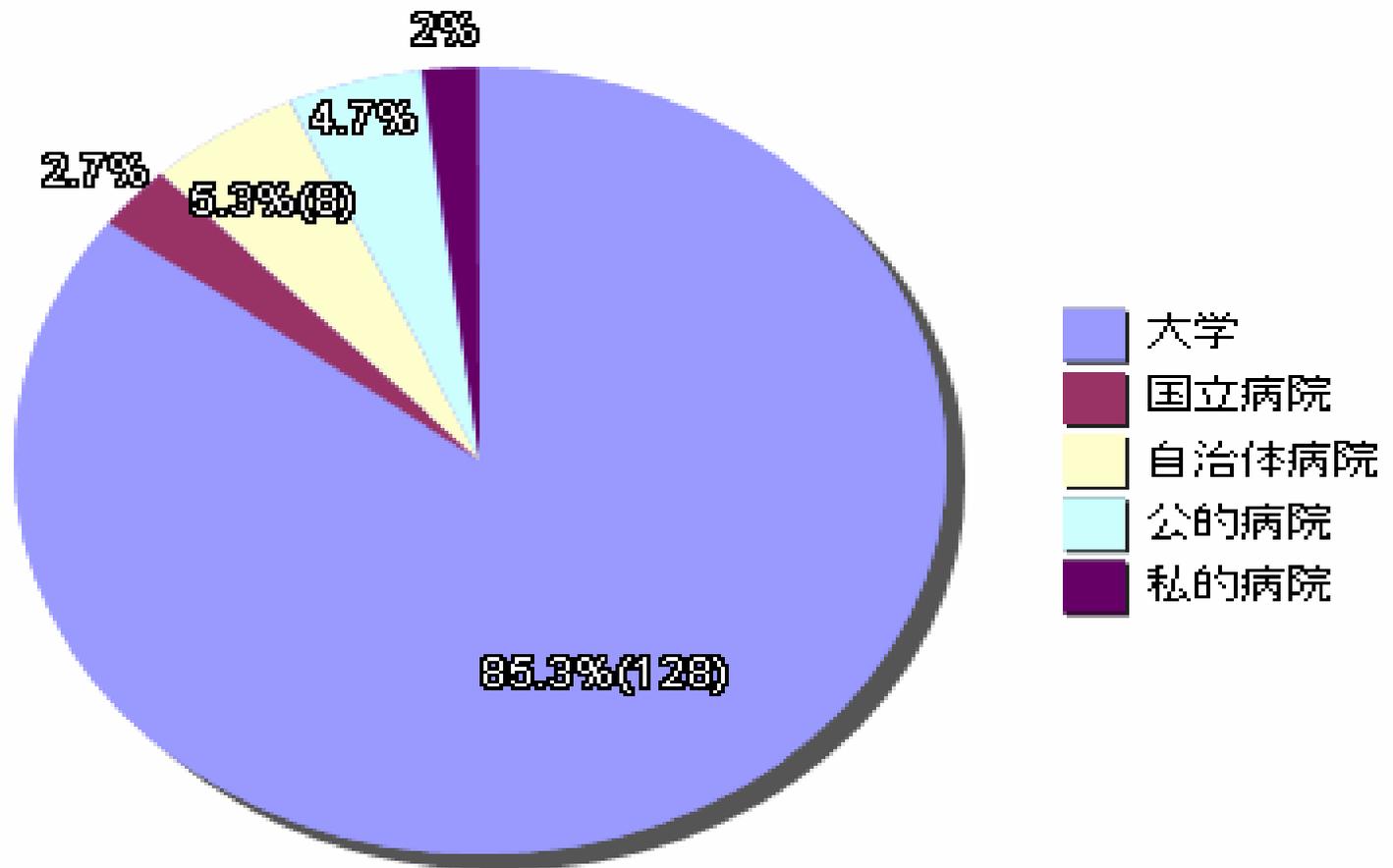
## 代議員の卒後年数



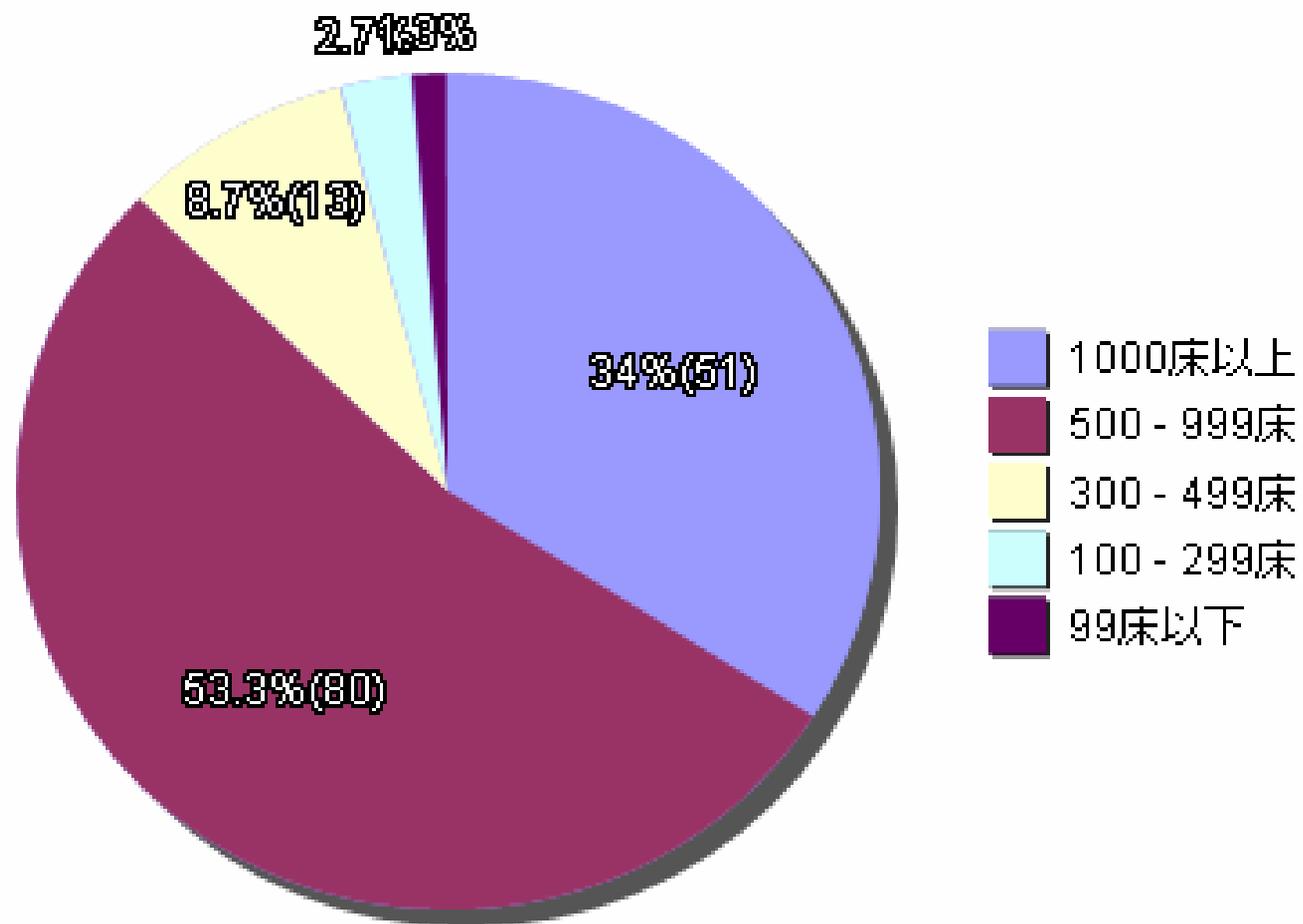
## 代議員の専門分野

(合計)	回答数		
食道	22	(14%)	
胃	30	(20%)	
大腸・肛門	25	(16%)	
肝胆膵	54	(36%)	
呼吸器	12	(8%)	
心臓	26	(17%)	
血管	14	(9%)	
乳腺内分泌	19	(12%)	
小児	17	(11%)	
救急、外傷、熱傷等	3	(2%)	
専門無し全般	1	(0%)	
その他	2	(1%)	

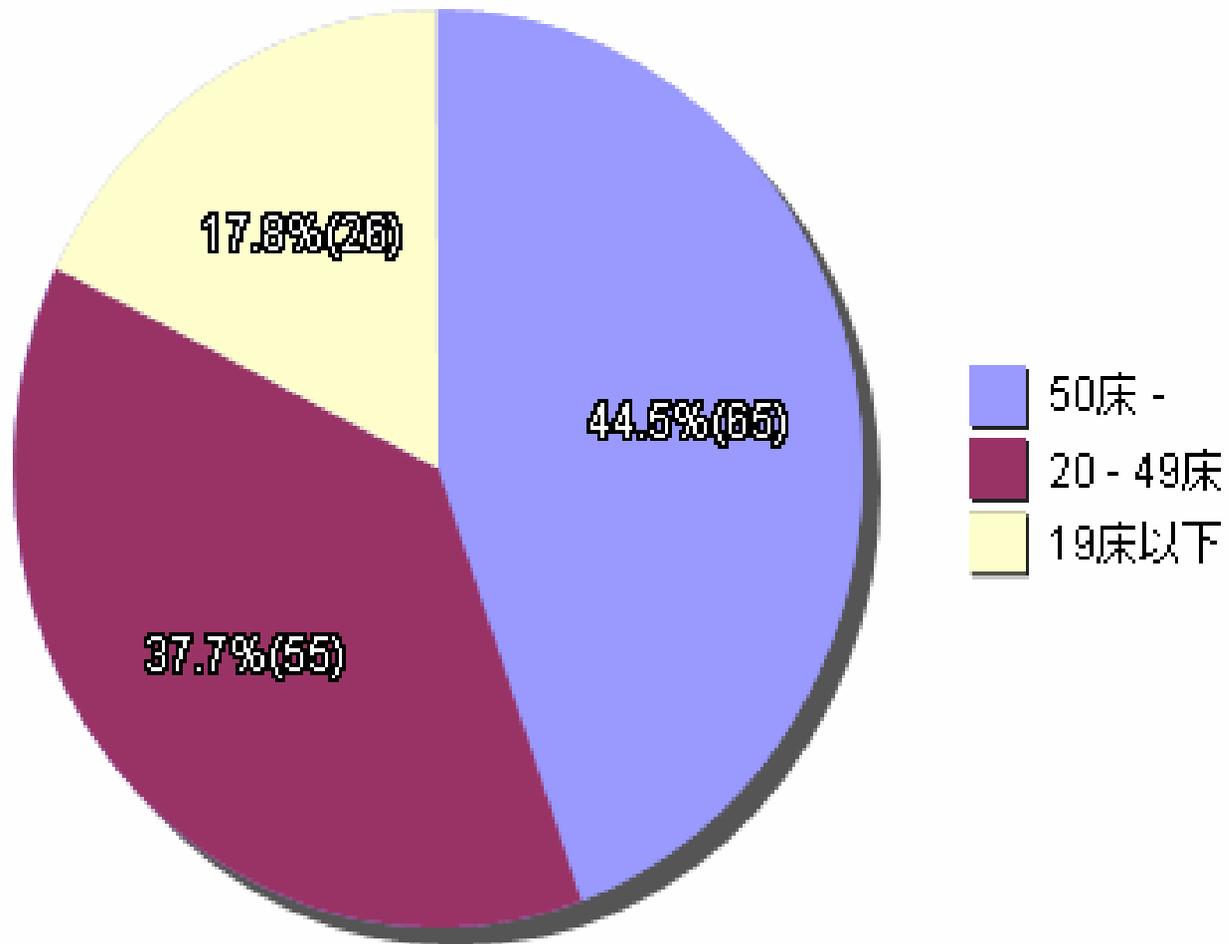
## 代議員の施設



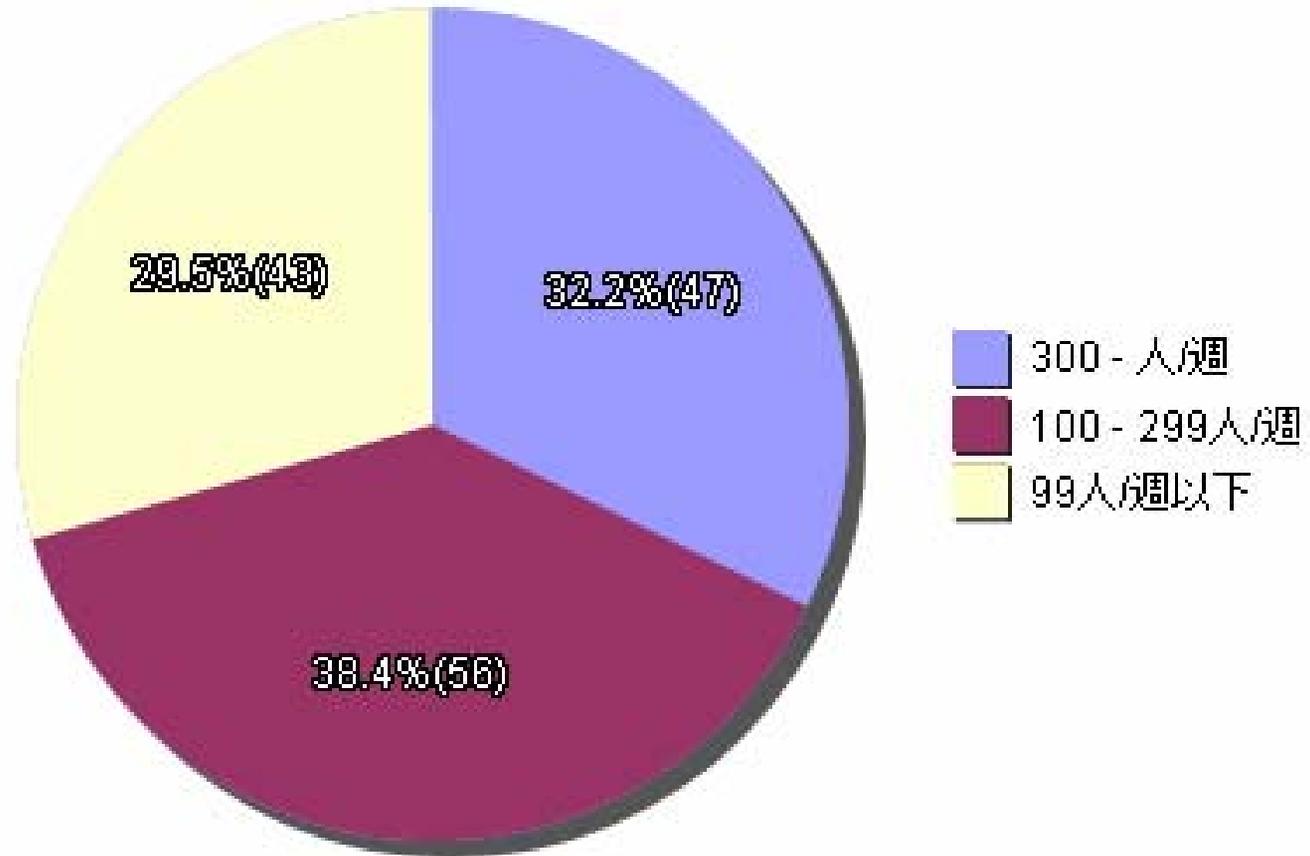
## 病院全体の病床数



## 受け持ちベット数

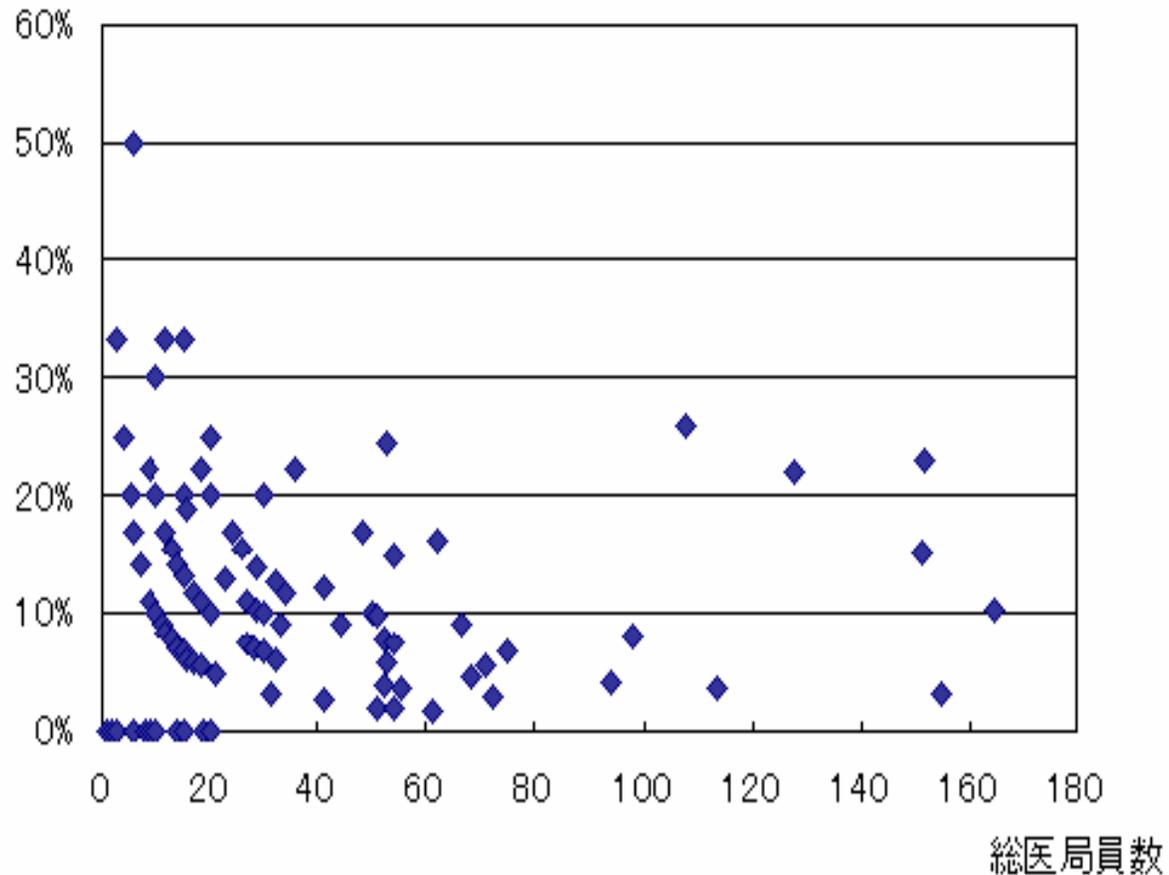


## 外来患者数

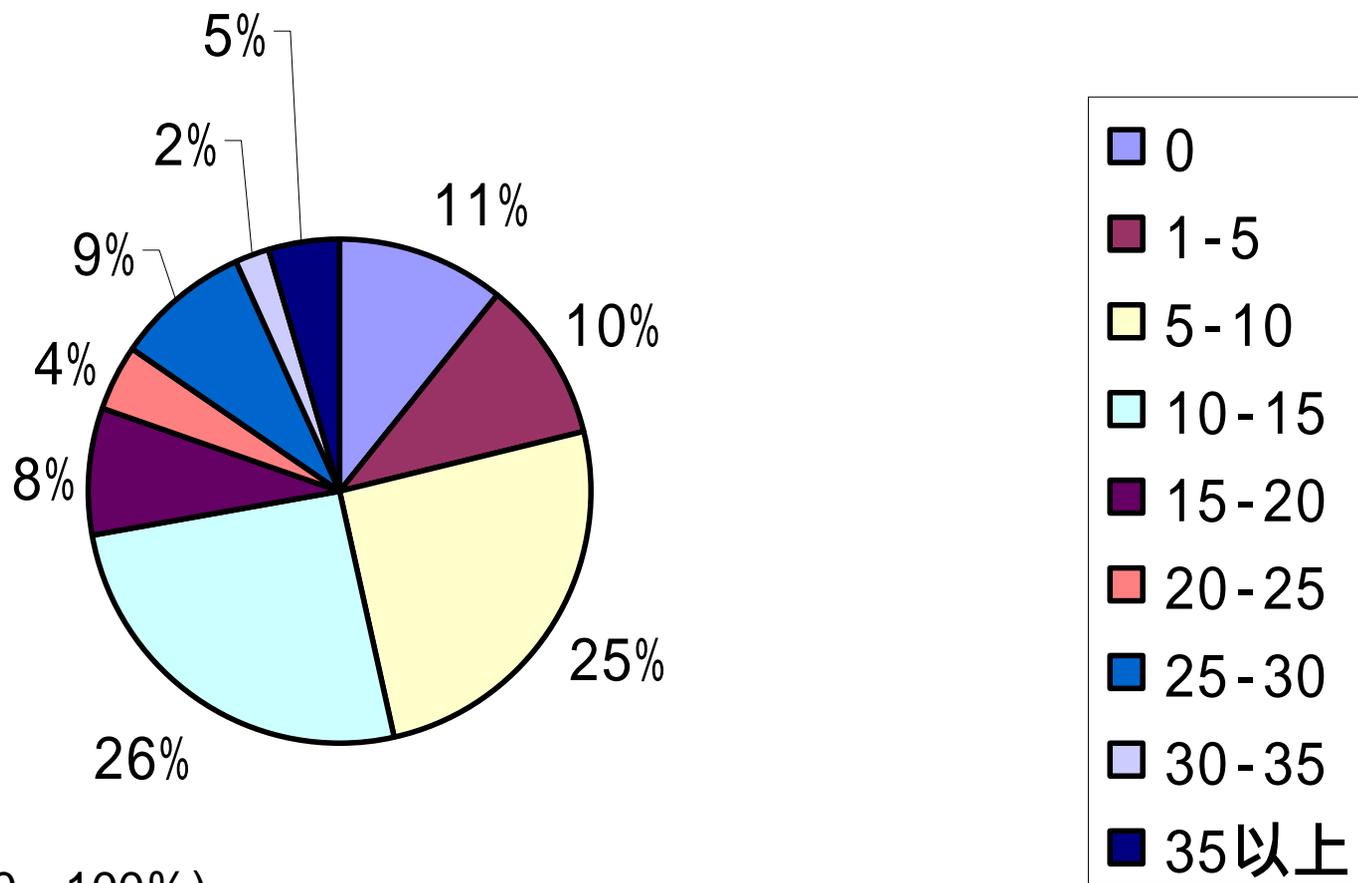


# 施設における男女医師数

女性医局員  
の割合

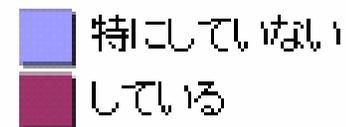


# 施設における女性外科医の割合

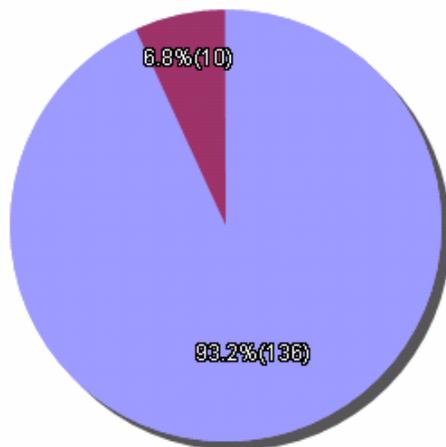


平均 12.8% (0 - 100%)

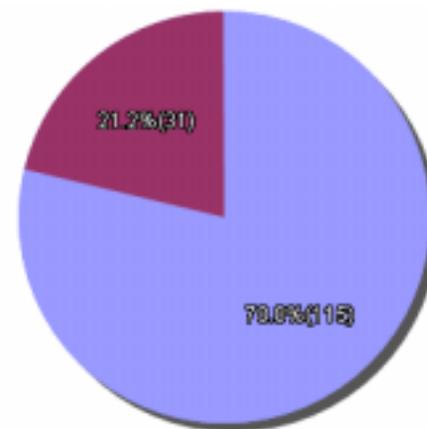
# 女性医師への特別な配慮をしているか



## 採用面



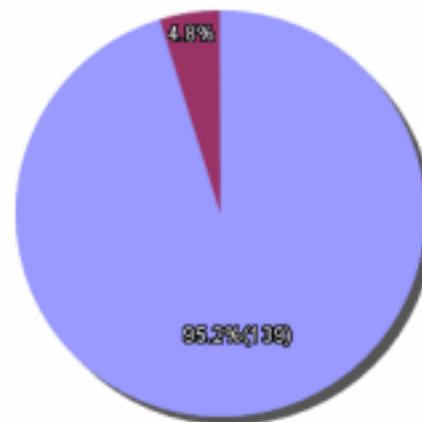
## 勤務条件面



## 昇進面

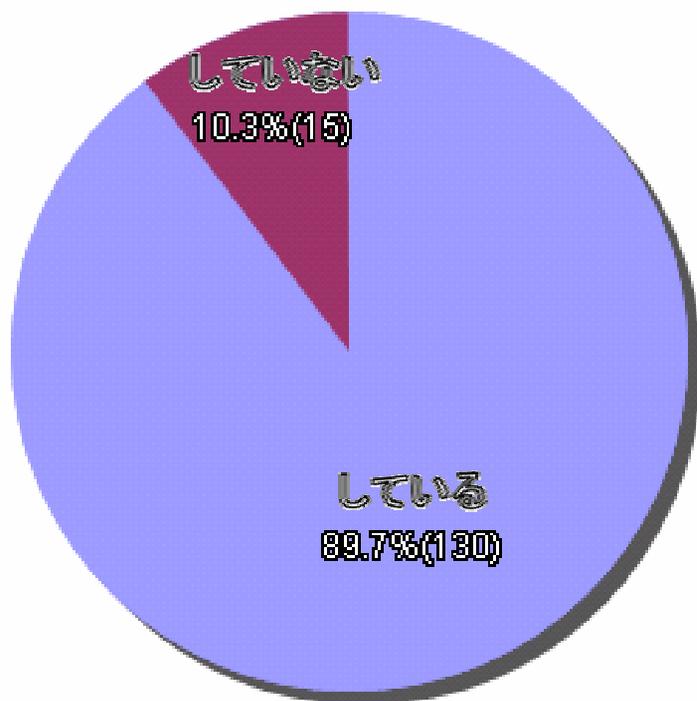


## 研究指導面

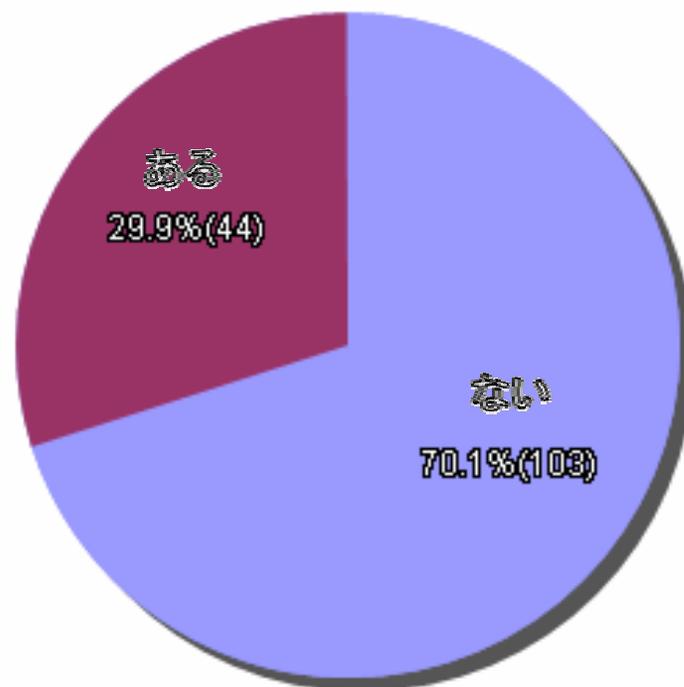


# 女性外科医師に対する考え

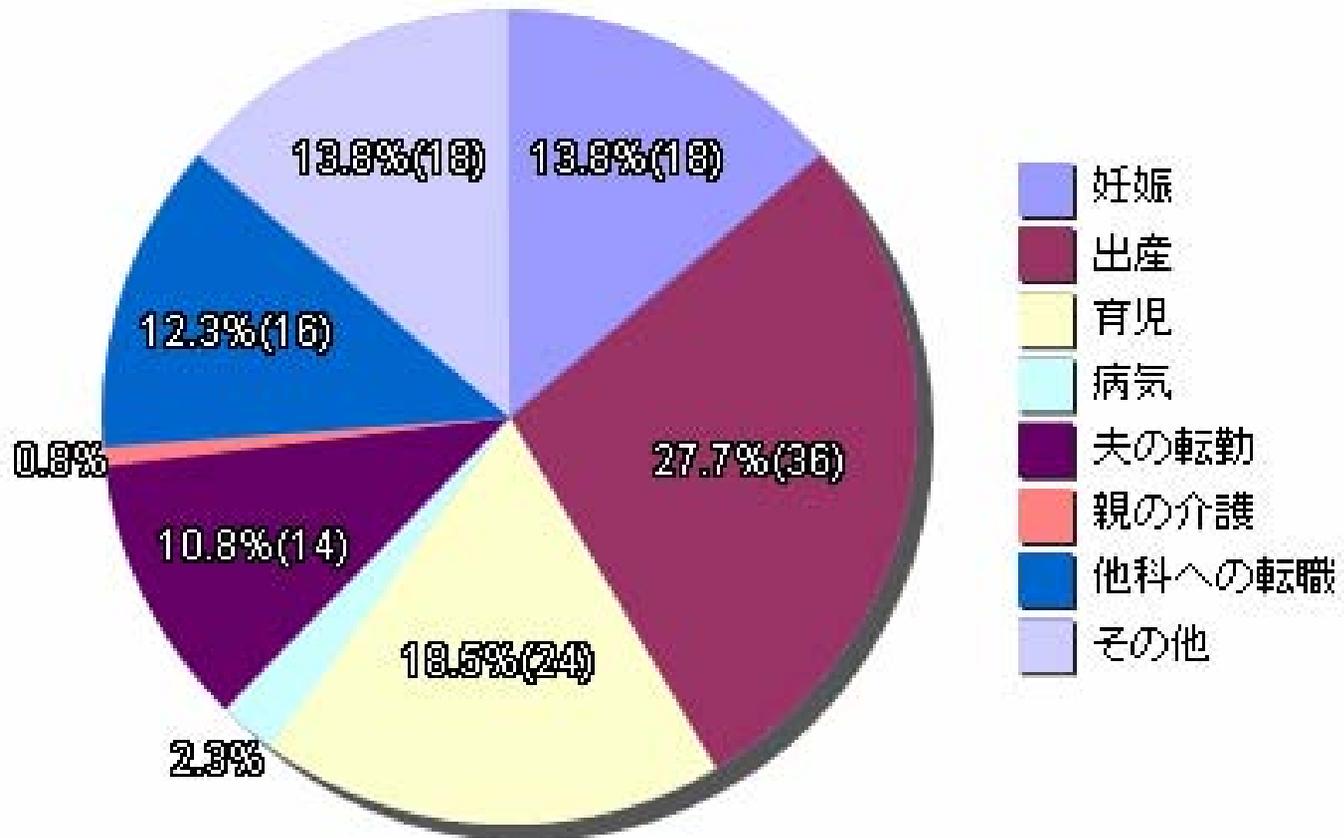
働きぶりに満足しているか



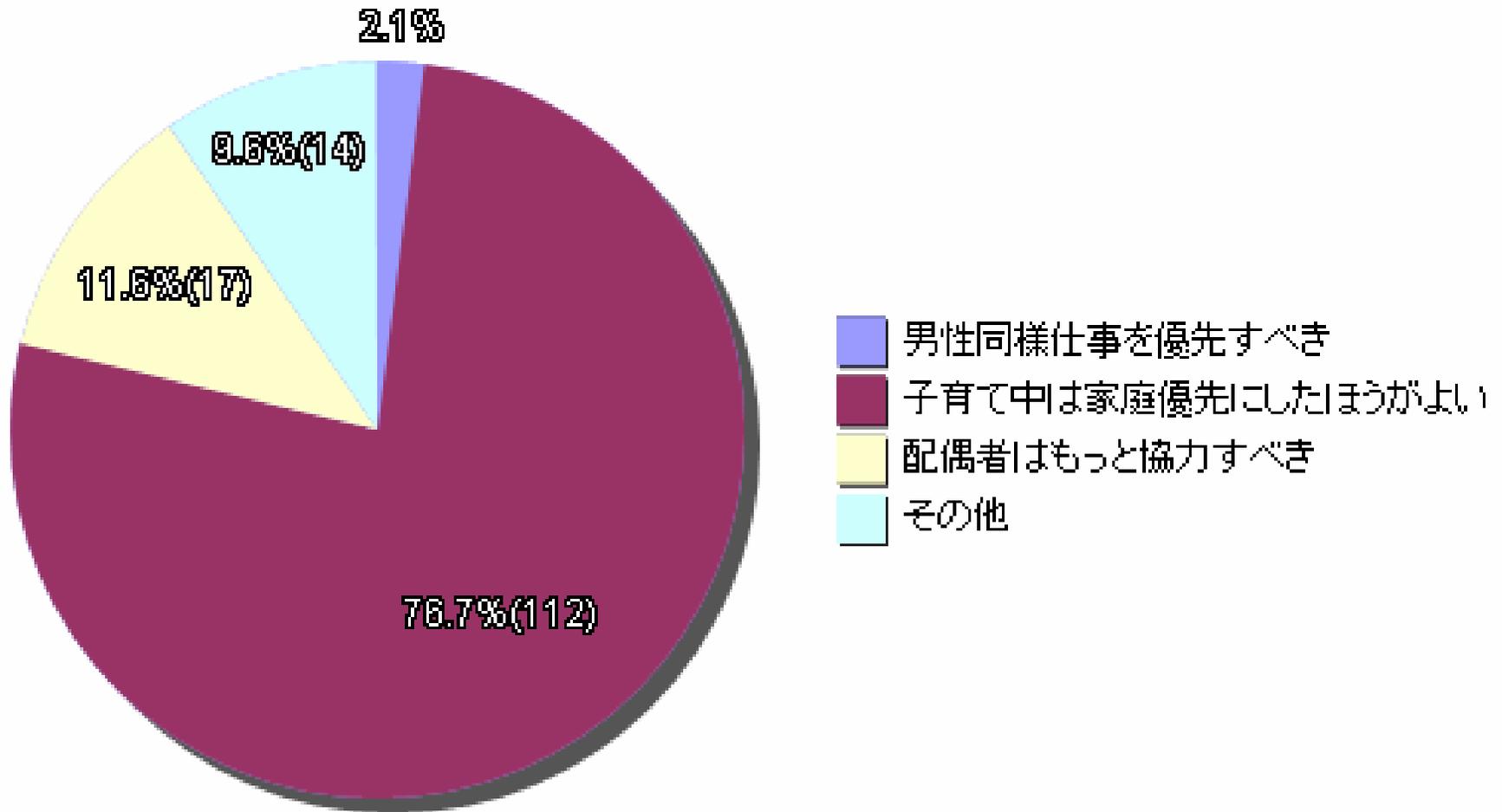
処遇で困ったことがあるか



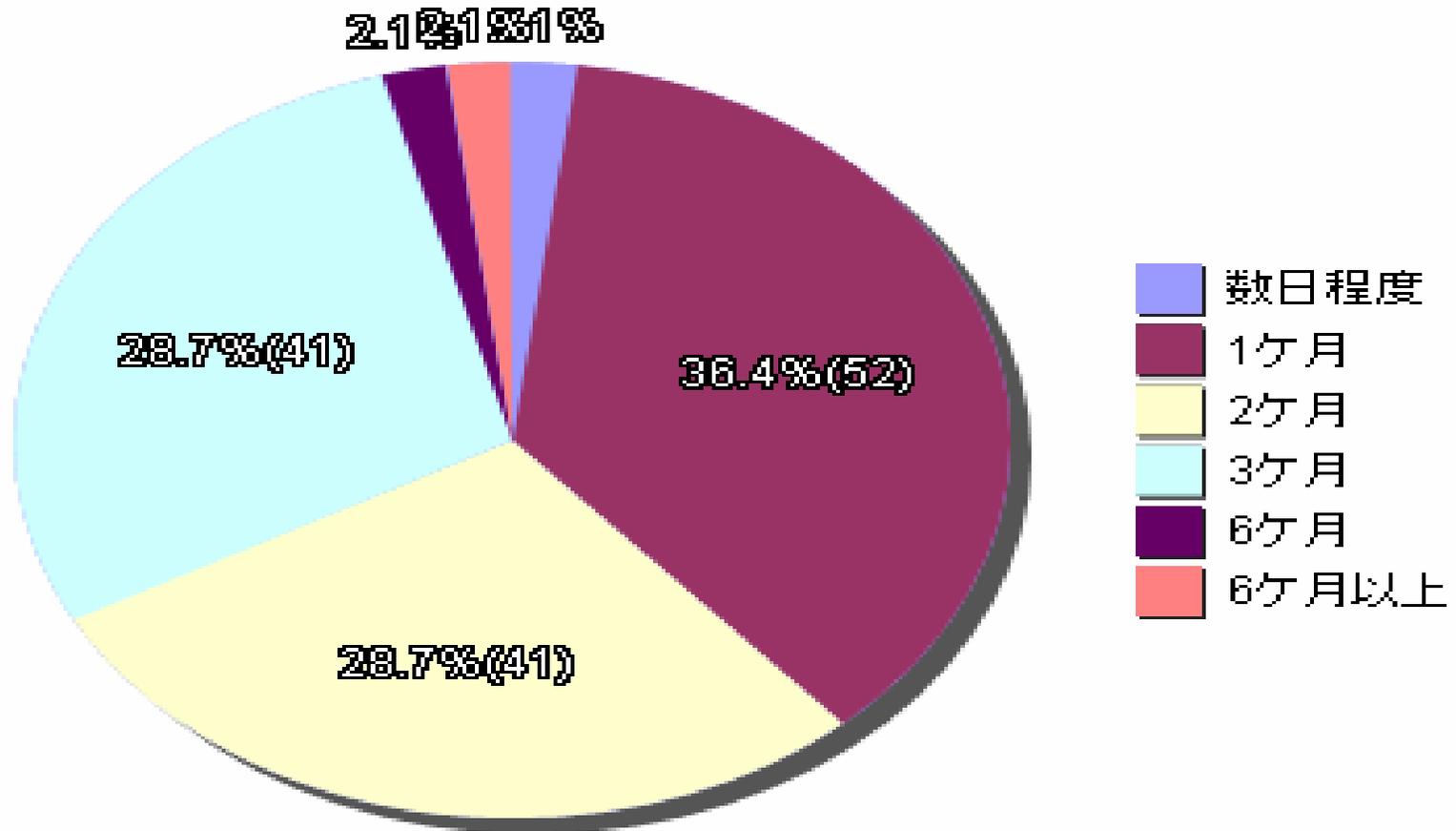
# 女性医師の休業・退職理由



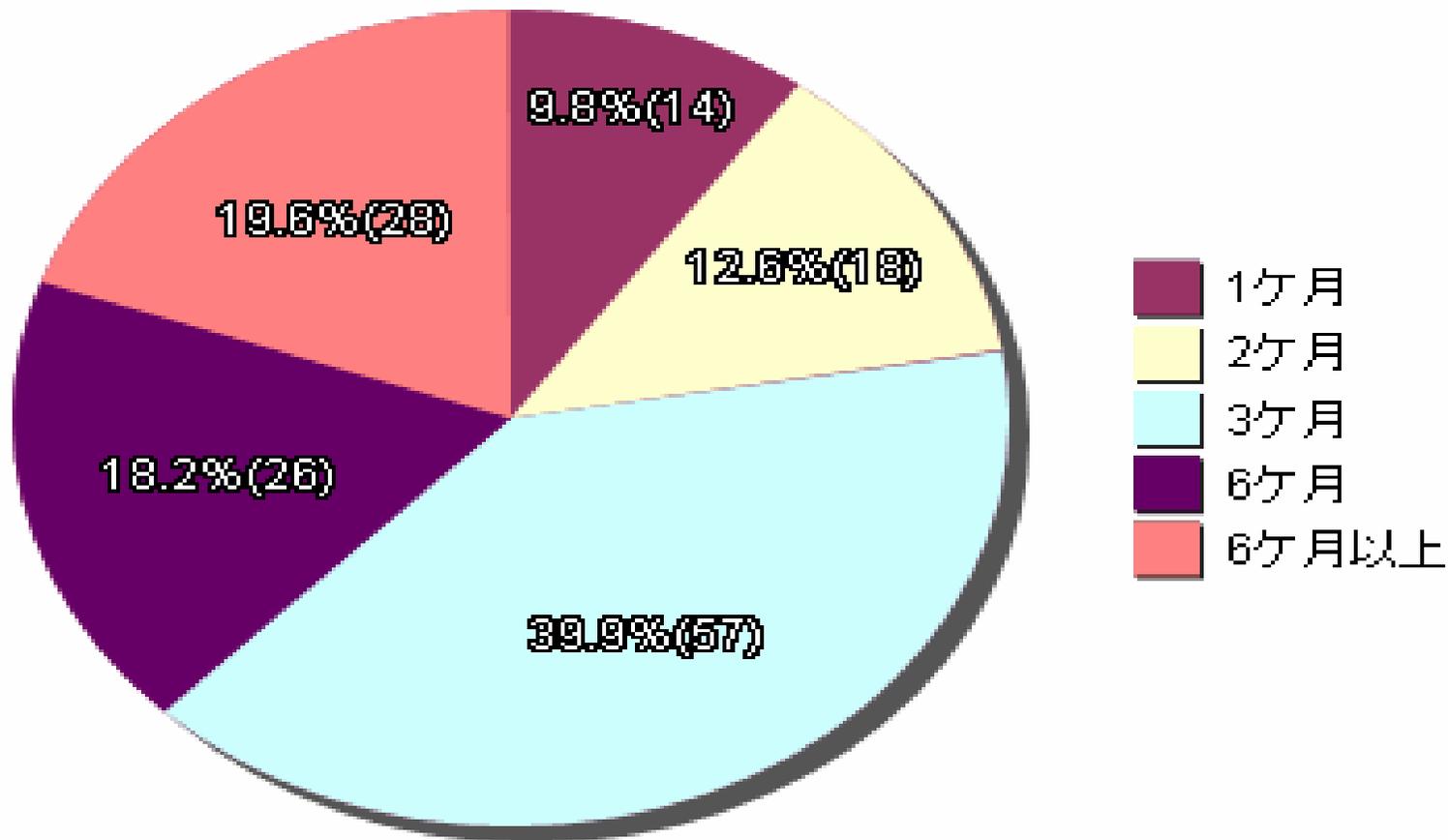
# 女性医師の子育てなどによる休業についての考え



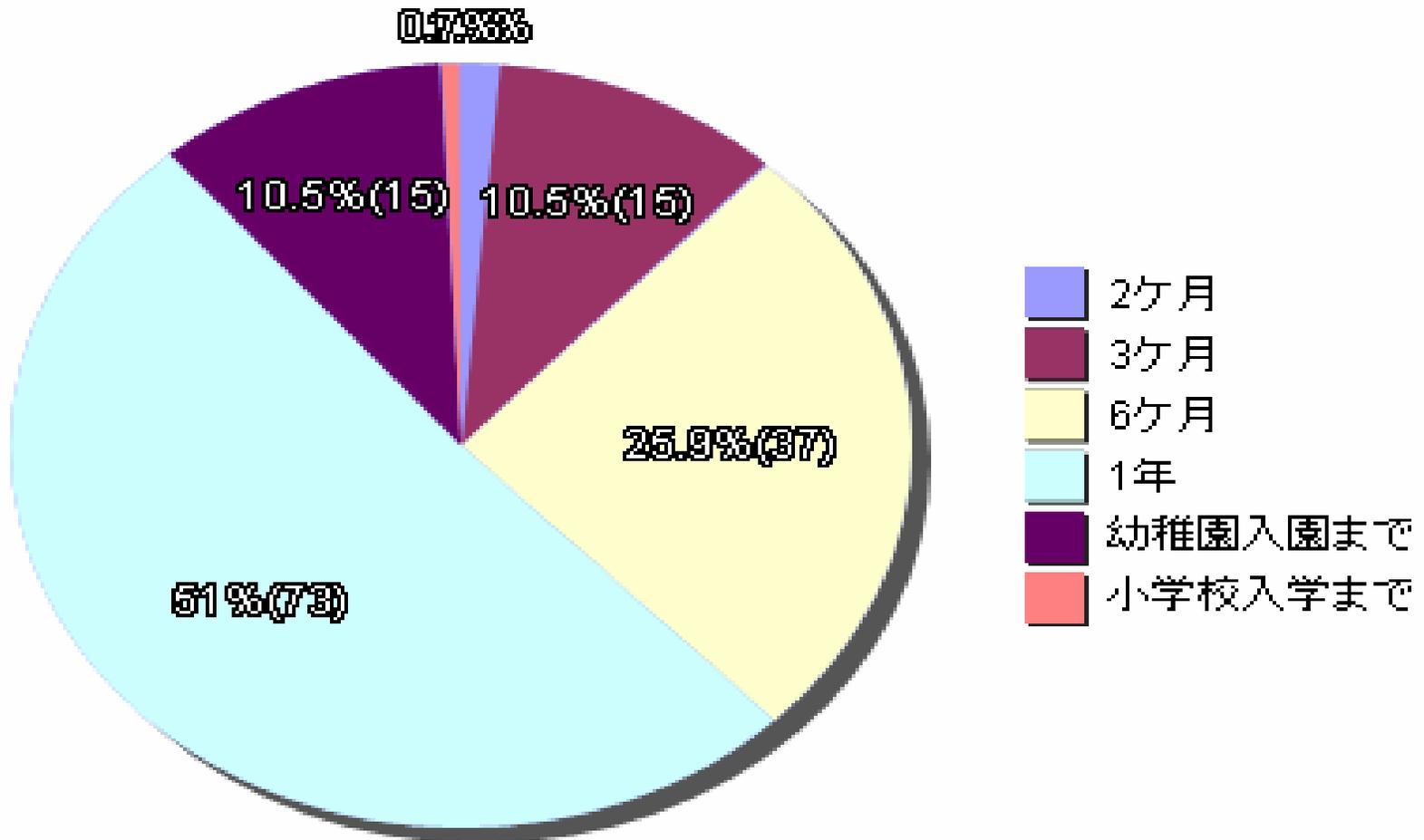
# 産前の休暇についての考え



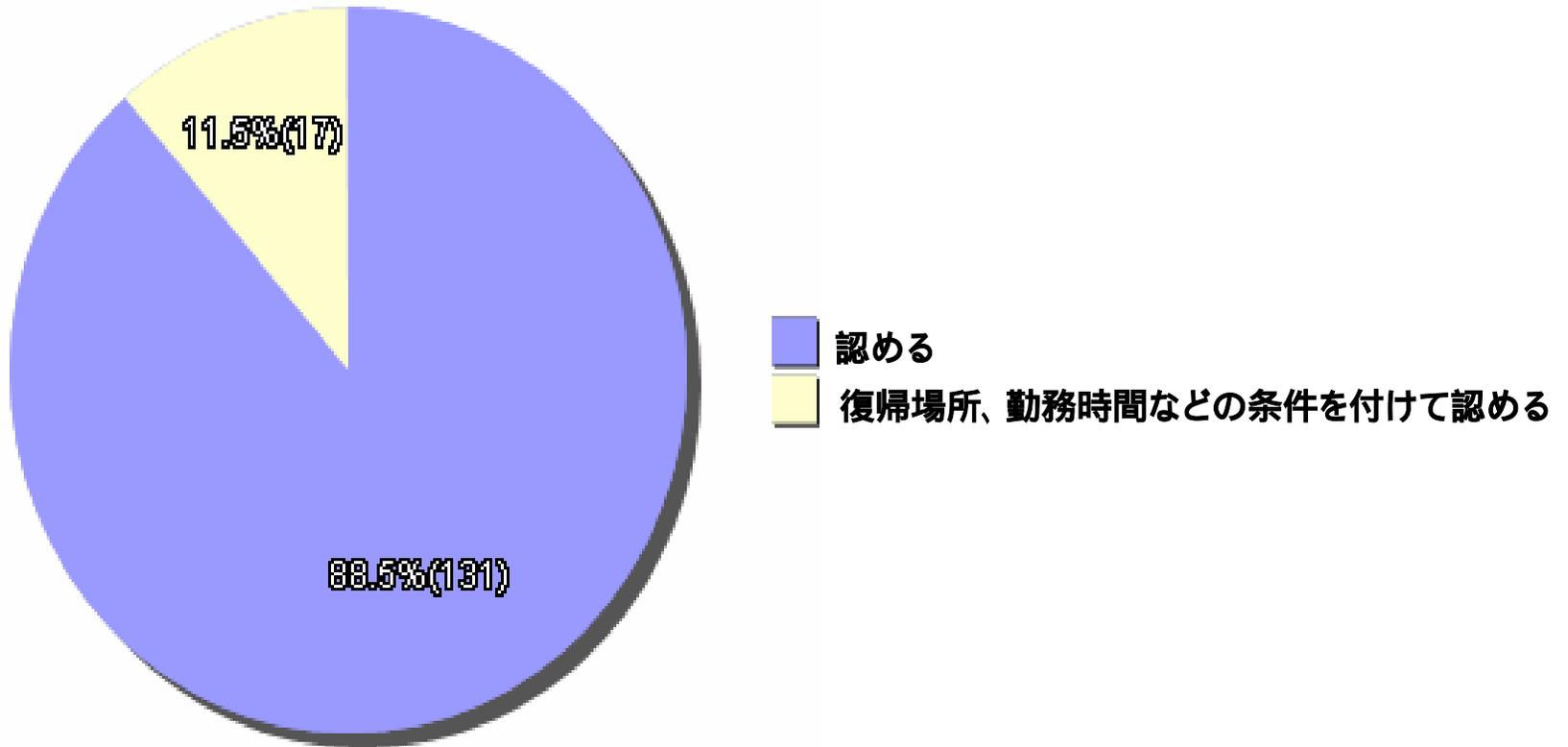
## 産後の休暇についての考え



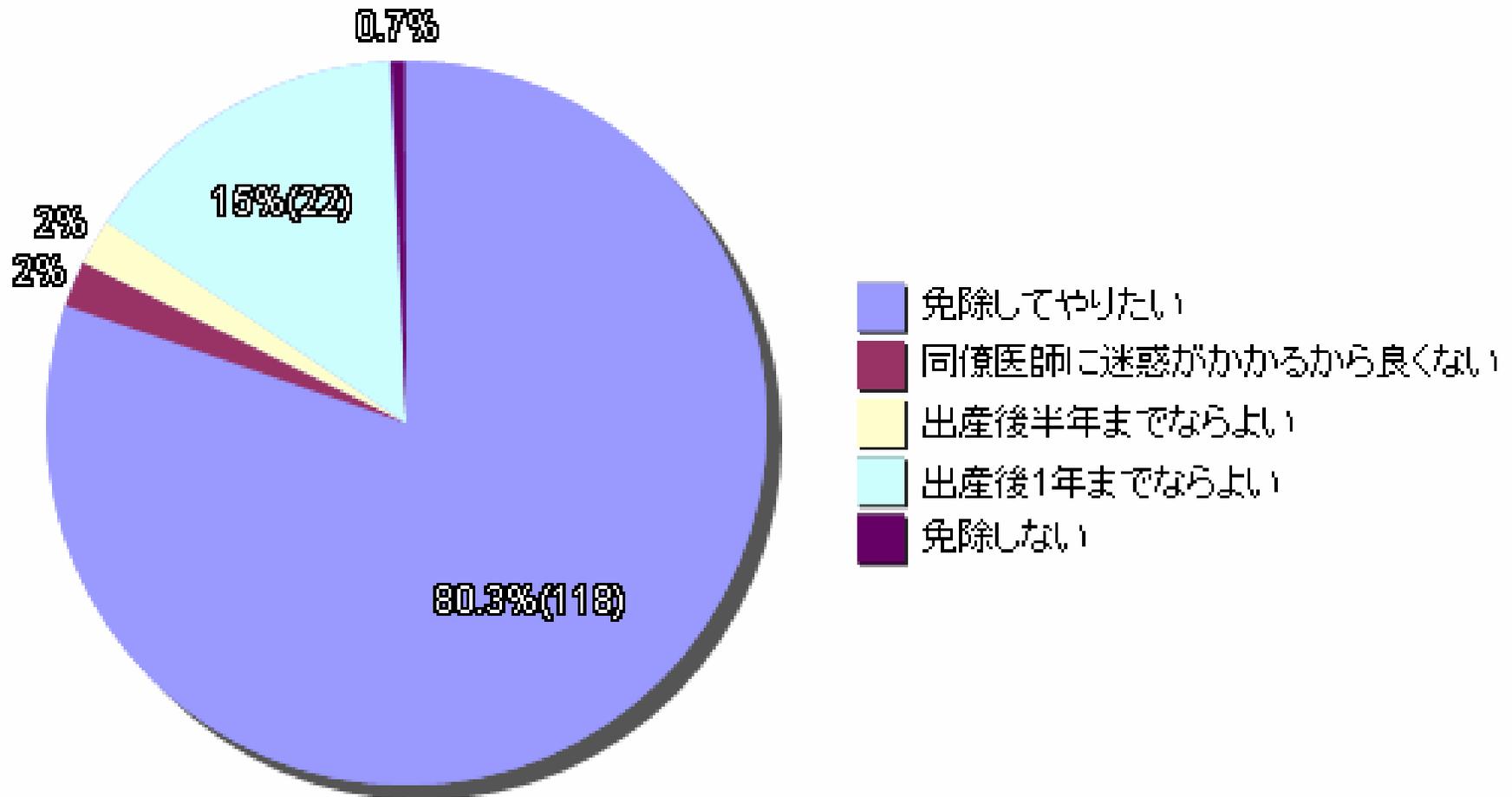
# 育児休暇についての考え



# 1年以上休業した女性医師の復帰希望についての考え



# 子育て中の当直の免除について

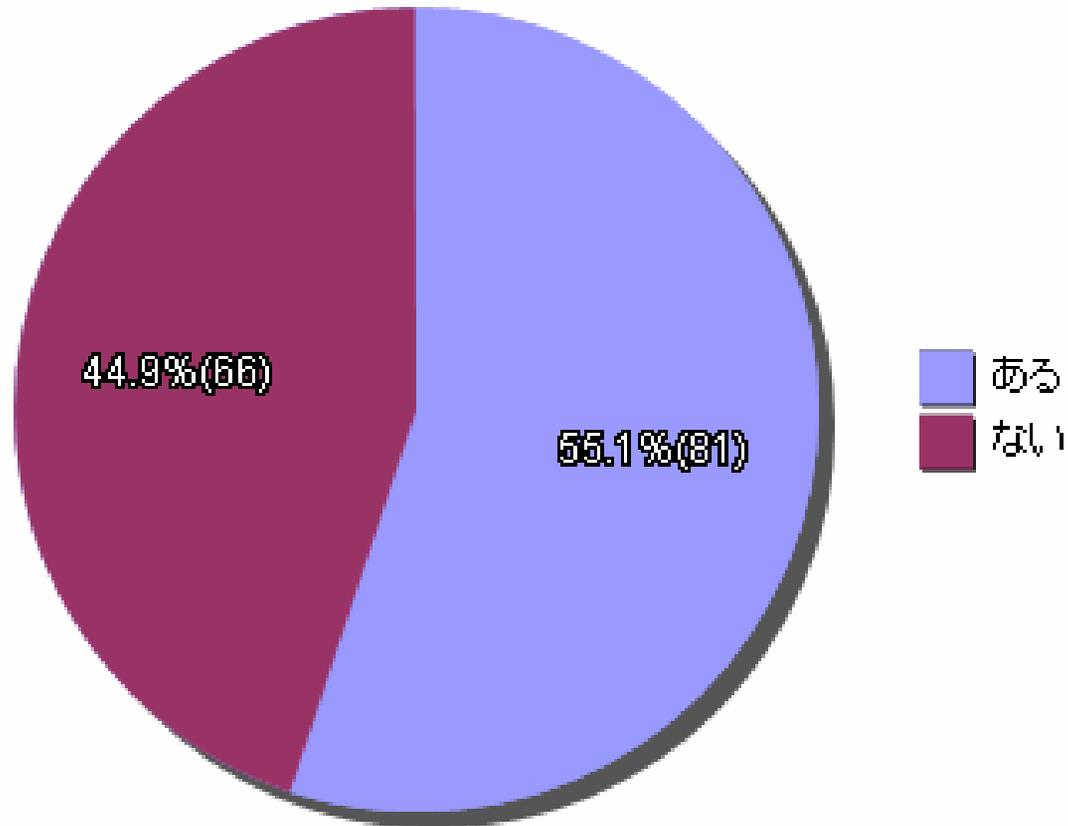


# 女性医師を確保する上で必要な支援策

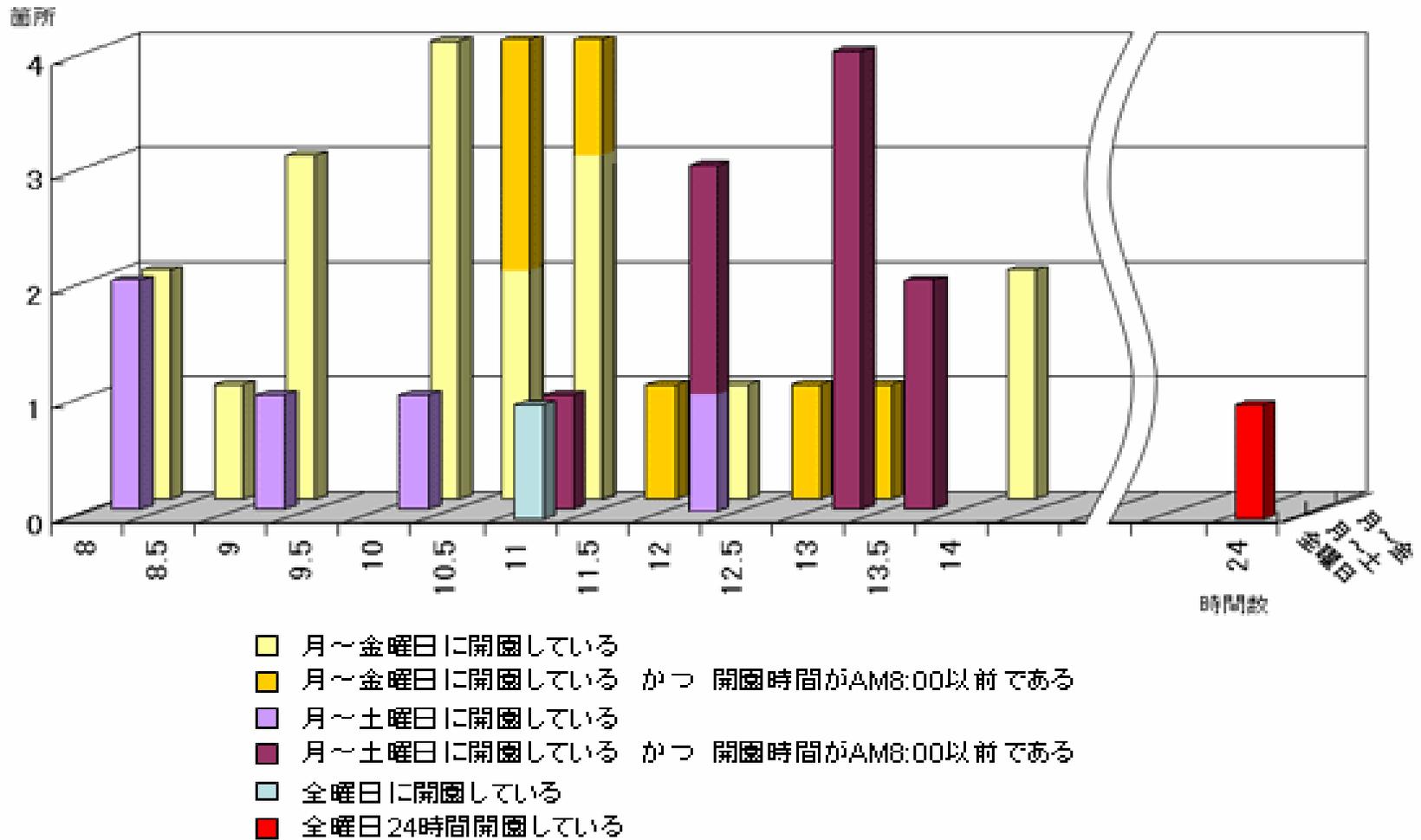
(合計)	◎	○	△	×	
上司の理解	118	27	4	1	78% 18% 2%0%
配偶者の理解	118	28	2	0	79% 18% 1%
職場環境の改善	87	57	6	0	58% 38% 4%
勤務労働条件の改善	66	68	12	2	44% 45% 8% 1%
就労支援	60	72	14	2	40% 48% 9% 1%
子育て支援休暇	83	59	6	2	55% 39% 4%1%
子育て後の復帰支援	84	59	6	1	56% 39% 4%0%
延長保育	68	73	8	1	45% 48% 5%0%
病児保育	70	69	8	1	47% 46% 5%0%
オンコール時の緊急呼び出し対応の保育	41	85	19	2	27% 57% 12% 1%
家事支援	10	53	66	16	6% 36% 45% 11%
研究支援	5	48	66	25	3% 33% 45% 17%
留学支援	3	32	65	43	2% 22% 45% 30%

(合計)	回答数	
ワークシェア	104 (69%)	
パートタイム	94 (62%)	
当直の交替制	54 (36%)	
その他	7 (4%)	

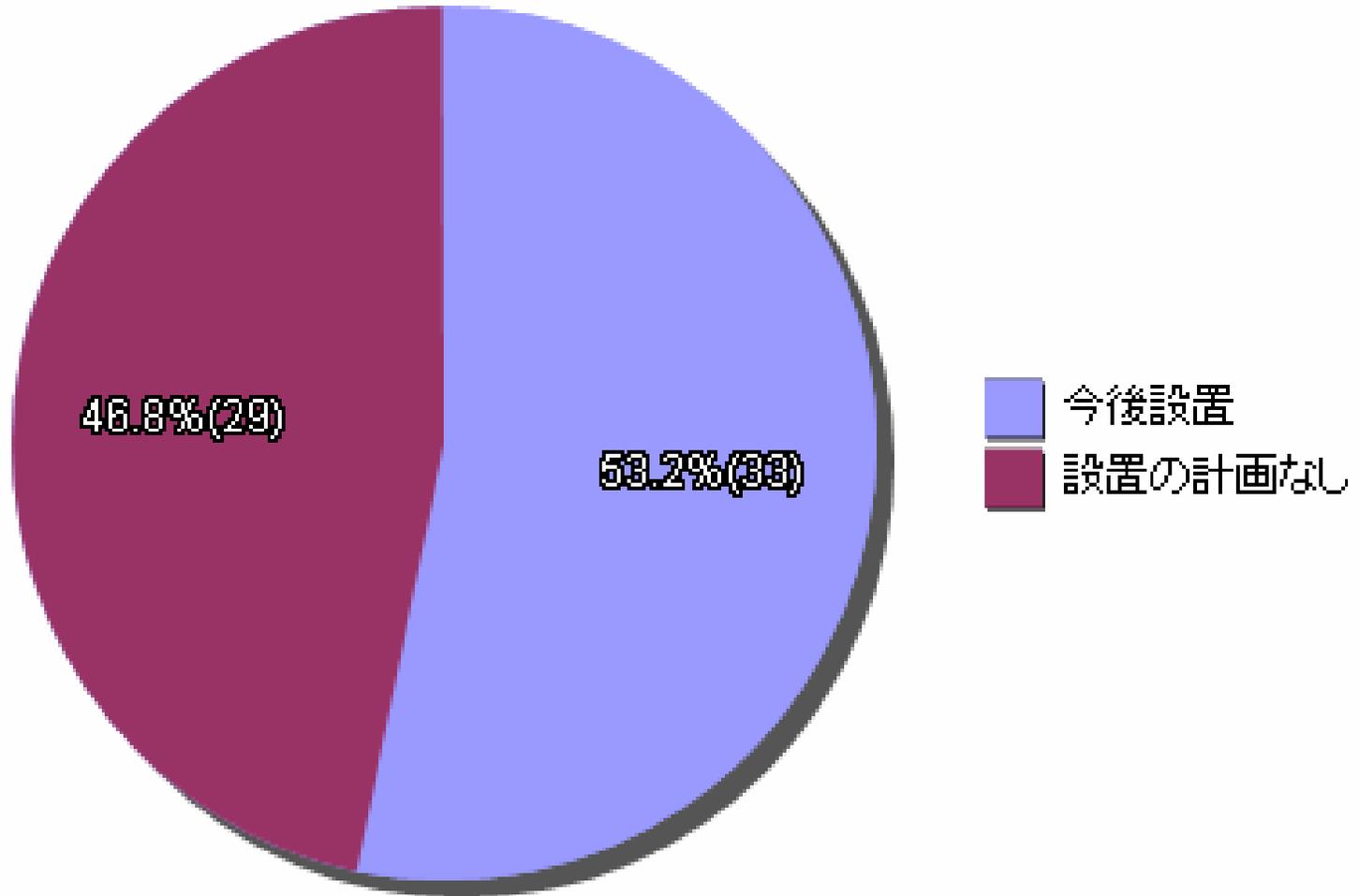
## 病院・施設に医師が使える保育所はあるか



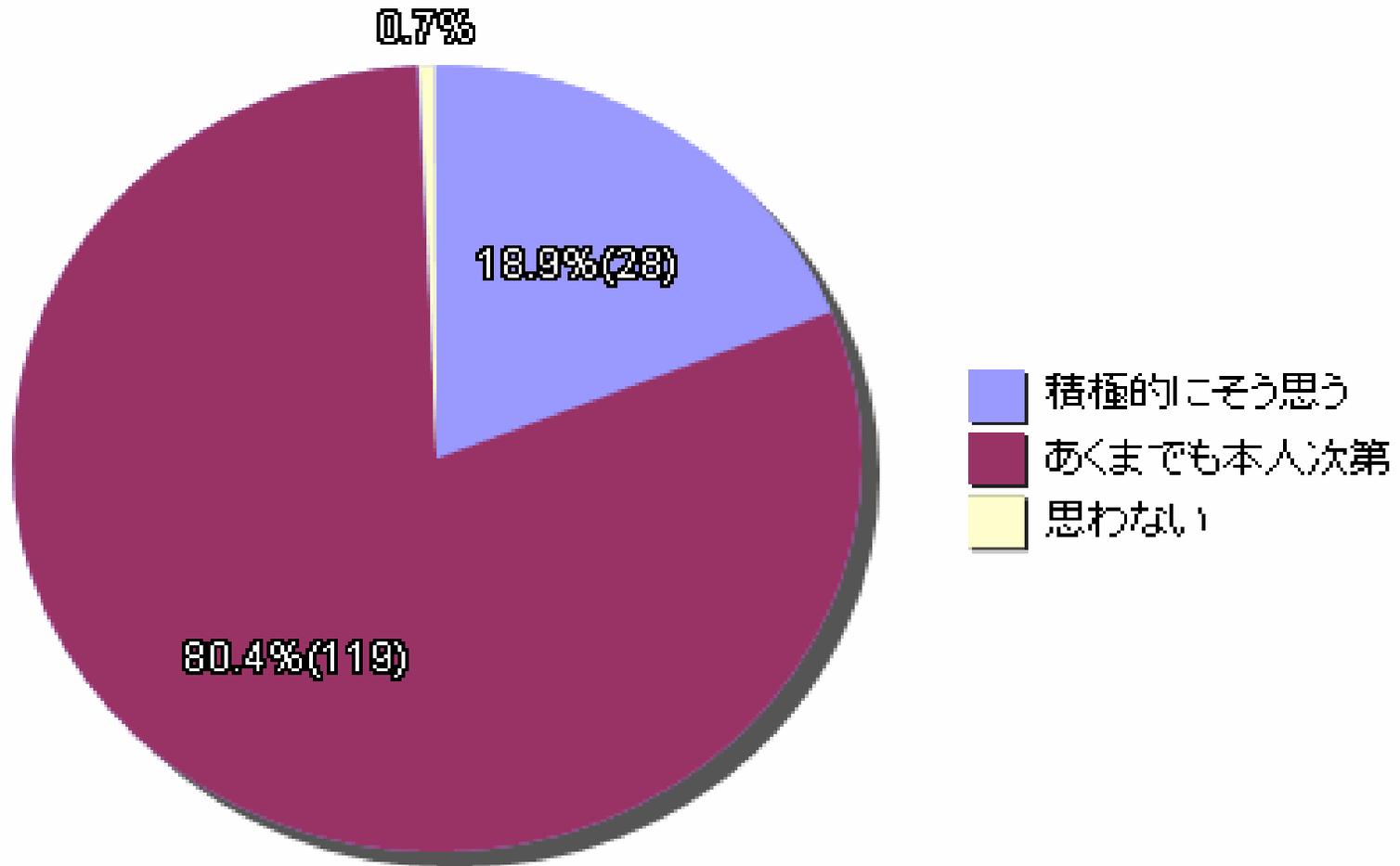
# ある場合、保育園の開園曜日、可能時間帯



## ない場合、今後の設置計画の有無



女性医師が将来、教授・病院管理職、等になれるよう育て欲しいと思いますか



## 男性医師の育児休業を認めるか

